

報告事項

教材開発事業に係る第 期ドリルの完成について

教材開発事業に係る第 期ドリルの完成について、別紙のとおり報告します。

平成 2 2 年 4 月 2 2 日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

教材開発事業に係る第 期ドリルの完成について

1 教材開発の趣旨

県内小中学生（特別支援学校を含む）の国語、算数・数学における基礎的基本的な知識や技能の定着と学習習慣の確立をめざし、本県独自の教材開発を行う。

2 教材作成の経過及び今後の予定

平成 2 1 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協力校の確定、検討委員・教材作成委員の確定（4月） ・第1回教材開発検討委員会（4月） 国語ドリル（言語事項中心）、算数ドリル（計算領域中心）作成を確認 ・第2回教材開発検討委員会（6月） ・協力校での試行実施及びアンケート実施（7月） ・第3回教材開発検討委員会（9月） ・協力校での試行実施及びアンケート実施（12月） ・第4回教材開発検討委員会（1月） ・小1～中3のうち、小1～小4の第 期ドリルが完成（3月）
平成 2 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協力校：小1～小4に第 期ドリルを配布 ・協力校以外：第 期分を教育センターホームページに公開 ・教材開発検討委員会等で効果的な活用法を検討 ・国・算（数）とともに第 期分（小5～中3）を作成
平成 2 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・協力校：小1に第 期ドリルを、小5～中3に第 期ドリルを配布 ・協力校以外：第 期分を教育センターホームページに公開 ・小1～中3までのドリルの内容の加筆修正・訂正を蓄積 （平成24年度以降に反映）

3 教材の特徴

小1～中3までの段階を2期に分け、分冊

- * 学年の進行に即して見通しが持てるよう、第 期（小1～小4）と第 期（小5～中3）に分けた分冊とする。
- * 児童・生徒の興味関心や自らの学習進度に合わせて学習に取り組み、個々の学習習慣の確立に役立てる。

基本から発展へ教科書の学年にとらわれない内容

- * 基本は該当学年の内容を中心としながらも、上位学年の内容も発展として盛り込む。

児童・生徒の実態を踏まえながら、鳥取県らしさを加味した教材

- * 鳥取県の風土や文化に親しみを持ち、郷土とのつながりが身近に感じられる内容を加味する。

問題編に対応した解答編

- * 児童・生徒が自分で解答の確認ができる解答編を作成する。